

会 議 録 (1)

会議の名称	平成27年度 第1回入間市文化財保護審議委員会
開催日時	平成27年6月30日(火) 午後1時00分開会・午後2時30分閉会
開催場所	入間市博物館 会議室
議長氏名	㊦枝窪 邦茂
出席委員(者)氏名	㊦枝窪 邦茂 ㊧鹿島 英明 田代 甲平 渡邊 久芳 法隆 康一 柳澤かほる 林 宏一 梅津 久昭
欠席委員(者)氏名	大館 勝治 大河内隆敏
説明者の職氏名	博物館副主幹 大久保 卓 同主任 齋藤祐司 同主任 工藤 宏 同主事 長谷川奈美
会議次第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 挨拶 3 諮 問 4 議 題 (1) 諮問事項の検討について 5 報 告 6 その他 7 閉 会
非公開理由	
傍聴者数	0人
配布資料	平成27年度 第1回入間市文化財保護審議委員会資料
事務局職員 職 氏 名	・生涯学習部部长 福田 光嘉 ・生涯学習部次長 新見 輝明 ・生涯学習部博物館館長 西勝 啓祐 ・博物館副館長 水村 章一 ・同副主幹 大久保 卓 ・同主任 齋藤 祐司 ・同主任 工藤 宏 ・同主事 長谷川 奈美
会議録作成方法	筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項	
議 題	<p>4 議 題 諮問事項の検討について 指定文化財の新規指定について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 久保稻荷神社の狐塚及び手水鉢・ 西久保家旧蔵古今雛・ 木造千手観音菩薩立像・ 千日回向名号塔
決 定 事 項	<p>4 議 題 (1) 諮問事項の検討について 指定理由書の内容について検討を行ない、第2回委員会までに今回の検討内容をふまえて再度理由書を作成する事になった。</p>

会 議 録 (3)

発言者	発言内容
	<p>教育長より文化財保護審議委員会へ諮問</p> <p>4 議 題</p> <p>(1) 諮問事項の検討について</p>
委員	○ 諮問のあった4件については、全て指定したいという市の意向なので しょうか。昨年度の審議では指定候補としてこの4件を選出しましたが、 今後の審議によっては、例えば1件については指定にふさわしくないとい う答申を出してもよいものか、確認させてください。
事務局	○ 指定にふさわしいかどうかということも含めて、審議をお願いします。 なお、今回は大筋の内容についてご意見を頂ければと思います。
委員長	○ 自由な意見で審議をお願いします。はじめに、「久保稲荷神社の狐塚 及び手水鉢」について、意見をお願いします。
委員	○ 文章構成はいいと思います。7行目に書かれている「麓にある複数の 小型の狐像」については、これを指定するわけではないので、この部分 の記述は削除した方がわかりやすいと思います。また、地名の表記につ いては、当時の地名を先に書き、括弧内に現在の地名を書くということ で統一するとよいと思います。14行目に「扇町屋」とありますが「扇町 屋村」か「当所」で言葉を統一してください。人物名が多く出てくるの で、間違いがないかも一度確認をお願いします。17行目の「商人の仲間 」には「扇町屋村の商人の仲間」と表現した方がよいと思います。
委員	○ 「幕末の三筆」は市川米庵、巻菱湖、貫名菘翁の3名で、松本盛義は 「幕末の三筆」ではありません。このため、松本盛義の表現としては「江 戸時代後期の能書家として知られる」としてはどうでしょうか。
委員	○ 松本盛義については私もそう思います。7行目に「この塚は」とあり ますが、「この」だと単数表現になるのでおかしいと思います。最後の一 文は主語と述語が合わなくなっているため、二つの文に分けた方がよい と思います。
委員長	○ 8行目に「東側の展望が開けて」、とありますが富士山が見える方なの で「西側」ではないでしょうか。
委員	○ 結びの一文で、他の理由書のように文化財的価値の総合的な評価を書 いたらよいと思います。
事務局	○ 次回までに直したいと思います。
委員長	○ それでは、次に「西久保家旧蔵古今雛」理由書について、意見をお願 いします。
委員	○ 1行目に「野田村」とありますが、後ろに「(現在の入間市野田)」と 現在の地名を入れた方がよいと思います。また、「製作」の漢字は「製」 か「制」かどちらがよいでしょうか。
事務局	○ 野田村については、その通り加筆したいと思います。「製作」の字に

会 議 録 (4)

発言者	発言内容
委員	<p>については、理由書でも大量生産品であると記述があるので「製作」とするのがよいと思います。</p>
事務局	<p>○ 種別については、雛人形は有形民俗文化財として指定されることが多く、有形文化財の工芸品としているのは諏訪市の烈姫所有の雛人形があるくらいです。しかし、ある意味では日本の伝統的な工法を示しており、上等なものは手間暇をかけていることから、美術工芸品として指定するのがよいと思います。12行目の「町で」は「市中で」か「民間で」とするのがよいと思います。6～7行目の「描き目である等」は「描き目であること等」としてください。17行目の墨書があるが、の「が」は順接なので使わない方がよいと思います。</p>
委員	<p>○ 毛呂山町で享保雛が工芸品として指定文化財になりましたので、指定理由書を調べてみます。</p>
事務局	<p>○ 25行目、専門家の手により文化財としての修復が行われているとあります。修復した方の名前は、後世に伝える上で記載しておいた方がよいのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>○ 修復した方の名前を入れる点について検討します。</p>
委員	<p>○ 次に、「木造千手観音菩薩立像」についてお願いします。</p>
委員	<p>○ 10～11行目、法印覚重の記述の所に「根岸（現在の狭山市）光明院の」と入れた方がよいと思います。</p>
委員	<p>○ 8行目の「脇手は前後に」の所は「脇手の付け根基部は」と入れた方がよいと思います。</p>
委員	<p>○ 17～18行目、頭部に対して体部が簡素に作られている点が、当時の仏像の特徴といえるかもしれないという書き方は、弱気なように見えます。一般に東国の仏像は荒削りであるといえますが、関東の仏像の流れを汲んでいるのか、それとも単に荒削りなだけなのでしょう。</p>
委員	<p>○ ある意味、関東的ではありますが。頭部に対して体部が荒削りであるため後補ではないかという見方もありますが、材はカヤ材で一体です。胴体の表現は非常に粗く、戦国期の鎌倉仏師は腕が落ちていたのかと思わせるほどです。</p>
委員	<p>○ 頭部が丹念な仕上げであるのに対して体部は簡素であるという表現は見事だと思います。体部の簡素さに触れないでは、この仏像をちゃんと見ていないことになってしまいます。</p>
委員	<p>○ 作風として他の例があると思うので、調べて検討してはどうでしょうか。20行目に「基準的な作品」とありますが、この表現は基準でよいのでしょうか。</p>
委員	<p>○ ここは基準でよいと思います。当時の当地域や鎌倉仏師の活動を知ることができます。</p>
委員	<p>○ 大変おもしろい資料で、貴重です。</p>
事務局	<p>○ 仏像が置かれている厨子を付とするかについて意見をお願いします。</p>

会 議 録 (5)

発言者	発言内容
委員 事務局	○ 厨子はいつ造られたものでしょうか。
	○ 造られた年代ははっきりわかっていませんが、天保6年に本堂が再建されているのでその時に造られたものかもしれません。
委員 事務局	○ 蓮華院の勸進帳は元禄12年と天保6年ですね。
	○ 厨子については、造られた年代など調査を続けていくこととします。
委員長 委員	○ 次に、「千日回向名号塔」についてご意見をお願いします。
	○ 「千日回向所」や「名号」が刻まれています。内容を見ると念仏供養の記念に造立されたものであることから名称は「千日念仏供養塔」としてはどうでしょうか。3行目の書き出しは「この塔は、」とするのがよいと思います。また、名号塔としては入間市で唯一のものであることから「市内で唯一」と入れるとよいと思います。なお、ここでは村から村へ念仏供養を回していくという想定で書いていますが、念仏を唱えたのは人名が書かれている人で村はお金を出しただけ、という見方もできます。法名や戒名、俗名等を記した人々が念仏供養をして、造塔したものかもしれません。そうすると、念仏供養は蓮華院で行なったとも受け取れます。黒須村とも言えないので、取ってしまってもいいですか。村の数はもう一度確認してください。
委員	○ 岩木七右衛門と瀧澤長右衛門は世話人と書かれていますが、両人とも世話人なのではないでしょうか。
事務局	○ それぞれ書いてある面にある村の人々の世話人であったとも受け取れます。
委員	○ 加治丘陵一方の方を瀧澤長右衛門が、入間川の方を岩木七右衛門が世話したということでしょうか。
委員	○ 入間川村は岩木の住む村なので世話するなら岩木だと思いますが、瀧澤の面に書いてあるのはおかしいですね。
委員長 委員	○ 書いてある数字は世帯数ではないのですか。
事務局	○ 当時の世帯数から見ると3割くらいです。
	○ 当時の史料に載っている人数とも比べてみましたが、参加世帯数なのか参加人数なのかわかりません。
委員	○ 延宝9年という年号は、はっきりしているので名称に年号をいれてもよいのではないのでしょうか。この年辺りで大きな祭礼や事件でもあったのでしょうか。
事務局	○ 寛文、延宝というのは社会が形成された時代と一般に言われるように、村が経済的にも安定してきて、地域が豊かになり、石造物もこの時代から増えます。延宝8年、9年で大きな事件は記憶にありません。
委員	○ 入間市でも地蔵の造立が増えてきます。

会 議 録 (6)

発言者	発言内容
委員長	○ では、意見も出揃いましたので、次回までに事務局で理由書の修正をお願いします。議題の審議が終わりましたので、司会をお返しします。
事務局	○ ありがとうございました。次回の委員会までに内容を検討し、再度文章を作成します。次に報告にうつります。平成 26 年度文化祭保護事業及び活用状況の報告、平成 27 年度文化財保護事業および活用の計画について、質問はありますか。ないようでしたら、次第のその他としまして、報告があります。市指定文化財の「旧黒須銀行」で、正面の軒の漆喰にひびが入り、瓦が落ちそうな部分があったため、業者に見てもらったところ、軒がゆがんでおり立ち入るのも危ないということでした。そのため、秋の一般公開は中止し、修繕をする方向で考えています。この件についてご意見がありましたらお願いします。
事務局	○ 次回は 10 月頃に会議を開催する予定です。

事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

議 長 の 署 名 _____

議長が指名した者の署名 _____